

第2回 11月8日(火) 【都市像ごとの検討】

※主なご意見をまとめたものです。

“都市と自然が調和する新しいまちづくり”グループ

『ゆったりすごそう にいがた』

自然と人が育てあう水辺の空間

水の都(川、湖、沼)といわれる自然、景観を大切に残していく。

自然、人間、動植物が協生できることが大切。

ゆとりのある都市空間

新潟市中心街と回りの街とのアクセスを良くし、ストレスのない交通にしたい。

人や自転車には危険なところが多い。

支えあう都市と農村

都市人と農村の人の交流があると良い。

日本でも有数な平地に恵まれているので、これを生かしたい。

新しいことにチャレンジするまちづくり

独特な産物を販売して個性的な店の出店をしていくと良い。

若い世代を応援できる人財、環境づくり。

安心、安全のまち

自然災害に強い街づくりを!!

水に恵まれている反面、水害に弱いので治水を万全にして欲しい。

“にぎわいのある魅力的なまちづくり”グループ

『魅力的な中心街を持つ 国内外に開かれた政令都市 にいがた』

国内外へアピールできるイベントづくりとPR

絶え間なく全国レベルのイベントを開き、観光客の集客を図る。

治安が良く防犯なども比較的安全なことを、市内外に知らせる。

充実している宿泊施設をうまく利用、PRする。

新型交通システムと公共交通のリンク

どこでもどんな乗り物でも移動ができると良い。

新潟市全体を結ぶレールづくり。

公共交通の利便性をUPし、利用者を増やす。

中心街の一体化と活用! 活性化!

中心地が複数あることは魅力的(新潟駅前、万代、本町、古町など)だが、一体化するなお良いのではないか。

楽しみながら歩ける街だと良い。

若者だけでなく年配者も集まる中心地にしたい。

第3回 11月19日(土) 【提言】

※主なご意見をまとめたものです。

“都市と自然が調和する新しいまちづくり”グループ

『ゆったりすごそう にいがた』

◎自然と人が育てあう水辺をつくろう

- 休耕田を利用したビオトープ作りをすすめます。
- 住民参加で自然環境を守ろう。(ゴミ拾い、花植えなど)

◎支えあう都市と農村の仕組みをつくろう

- 市民参加の農業会社やNPOなど、都市の人があつて農体験をする場をつくりたい。
- 地域固有の農産物を広めます。

◎ゆとりのある都市空間をつくろう

- 市街地に緑地や雪捨て場などのゆとり空間をつくります。
- 地域内の交通をスマーズにし、人と車が分離した道路をつくりたい。

◎新しいことにチャレンジする人をつくります

- 地域の人が常に子供を見守る目を育てます。
- 遊びを通してチャレンジ精神を育てます。

◎地域の個性・歴史・文化を市民が学びます

- 学校を地域に開放する。
- 地域に図書館をつくる。

◎安心、安全にすごせるまちをつくろう

- 災害に強い生活基盤を作ります。
- 地域住民によるパトロール活動、防犯センター、防犯カメラの設置。



“にぎわいのある魅力的なまちづくり”グループ

『魅力的な中心街を持つ 国内外に開かれた政令都市 にいがた』

“にぎわいのある魅力的なまちづくり”グループ

『魅力的な中心街を持つ 国内外に開かれた政令都市 にいがた』

◎中心街の一体化と活用! 活性化!

- 新潟駅～万代～本町～古町を結ぶプロムナードを整備する。花を植えるなどして華やかにする。
- 古町の漫画ストリートをPRやイベントに活用する。
- 中心街に歴史案内看板などを設置し、歩いて楽しい町にする。

◎新型交通システムと公共交通のリンク

- LRTによる周遊ルートを作る。
(例: 新潟市役所→古町→新潟駅→ビッグスワン→市民病院→県庁→市役所……)
- 市民の責任による公共交通機関を運営し更に利便性を高める。
- 新潟市全域を移動できる新しい交通機関の導入。

◎国内外へアピールできるイベントづくりとPR

- フィルムコミッショニングを利用し、映画で明るい新潟を発信しよう!
- 観光施設などのホームページは日本語・英語だけではなく、ロシア語・韓国語での案内文を載せ国内外へアピール。
- 日本一大河信濃川を利用した、大きなボートレースの開催や花船を走らせてインパクトのあるイベントづくりをすすめよう。

